

長久手会場 センターゾーン

迎賓館・レセプションホール

建築面積：2,292.66㎡
 延床面積：1,895.86㎡
 構造・規模：鉄骨造 地上1階
 設計：建築・構造・設備／日建設計
 施工：建築／大林・鴻池・鉄建・矢作共同企業体
 電気／トーエネック・日本電設・ダイダン・住友電設共同企業体
 工期：平成15年3月～平成17年3月



北側正面外景



レセプションホールの照明



迎賓館南側ゲストルームの照明



貴賓室の照明



調光盤



手動調光操作器



池を東側方向へ見通す迎賓館内観：天井には32Wコンパクト形蛍光灯ダウンライトを、間接照明には32WHf蛍光灯を採用

ナショナルデーやスペシャルデーなど、国内外の賓客のための博覧会公式施設

「愛・地球博」会場を訪れる国内外の賓客のための公式施設で、ナショナルデーやスペシャルデーのレセプション及び賓客の接遇や休憩に活用されています。

設計では既存の樹木を生かした建築配置や庭園計画、間伐材を取り込んだ外装材など、環境に取り組んだ計画がなされています。また、外周堀、水盤のある中庭、白砂の庭など、日本建築の空間技術を随所に取り入れ、賓客に「和」のテイストによるもてなしの心を表現した施設としています。

和の雰囲気でもてなし感を高めた照明環境を実現

レセプションホールの照明は、32WHf蛍光灯ランプ（調光形）6灯用埋込器具（下面アクリルカバー付）4台を1組にして、12組を採用し、さらにその周囲に75Wハロゲンランプダウンライトを設

置しています。照明制御は調光盤と手動調光操作器を設け、個別回路調光及び一斉調光を可能とし、催しに応じた多彩な演出が図れるようになっていきます（全点灯時平均設計照度：1,140 lx）。

迎賓館の南側のゲストルームは天然木練付けで3列の光膜天井となっています。照明はその内部に32WHf蛍光灯ランプ笠なし器具9連結を6列内蔵し、50Wハロゲンランプダウンライトを光膜天井枠に沿って設置しています。これにより落ち着いたもてなし感のある和の雰囲気を高めた照明環境が創り出されています。

■主な照明器具一覧

| 設置場所 | 器具名 | 形名 | 台数 | ランプ | |
|-----------|--------|------------|---------------|-----|-----------------|
| 迎賓館 | ゲストルーム | 光天井（笠なし器具） | FHT-41007N(改) | 108 | 32WHf蛍光灯ランプ |
| | | ダウンライト | IHD-2583(改) | 30 | 50Wハロゲンランプ |
| | 貴賓室 | 4灯用建築化照明器具 | 特注 | 20 | 32WHf蛍光灯ランプ×2×2 |
| レセプションホール | | 6灯用埋込器具 | 特注 | 48 | 32WHf蛍光灯ランプ×6 |
| | | ダウンライト | IHD-2583(改) | 48 | 50Wハロゲンランプ |